

**親愛なる intacs e.V. メンバー、SPICE アセッサー、そして intacs® の友人の皆様！**

「Automotive SPICE®の経験と収益性」に関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました！ 今回のニュースレターでは、皆さまから寄せられた貴重なご意見を基にした興味深い結果をお届けします。

また、「ASPICE ポテンシャル分析トレーニング」が 2025 年 5 月よりスタートしました！ このトレーニングは、プロジェクトの質を高め、実務での応用力を強化することを目的としています。

更に、今年後半には、注目のカンファレンスが目白押しです。SPICE モデルの最新情報をキャッチし、業界関係者や専門家との交流の場として、ぜひご活用ください。

では、どうぞお楽しみください！

iNTACS コミュニティの皆さまの継続的なご参加とご支援に、心より感謝申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

— iNTACS “情報管理”WG 一同

目次

<b>エグゼクティブボードおよびアドバイザリーボードからのお知らせ .....</b>	<b>3</b>
<i>intacs.info</i> ウェブサイトよりアセッサータグ削除	3
Automotive SPICE® の経験と収益性に関するアンケート結果	3
手順書およびテンプレートの変更	6
事実および統計	6
<i>intacs</i> ウェブサイトに FAQ / <i>intacs</i> ® ナレッジベース新設	6
iNTACS ニュースレターのバックナンバー	6
<b>アセッサーコミュニティからのお知らせ .....</b>	<b>7</b>
SPICE コミュニティおよびネットワーク	7
ブダペストにおける iNTACS イベント	7
<b>ワーキンググループ(WG)からのお知らせ .....</b>	<b>8</b>
iNTACS “新規トレーニングコースとコーディネーション”WG からのお知らせ	8
iNTACS “機能安全”WG からのお知らせ	8
iNTACS “データ管理 SPICE”WG からのお知らせ	10
iNTACS “光学 SPICE”WG からのお知らせ	11
<b>SPICE 関連カンファレンスのご紹介 .....</b>	<b>13</b>
第 32 回 EuroSPI カンファレンス(2025 年 9 月 17-19 日)@ラトビア・リガ、技術大学	13
第 1 回 NASPICE カンファレンス (2025 年 9 月 23-24 日) @米国ミシガン州・ノヴァイ	13
第 2 回 アジア SPICE カンファレンス (ASCON) x 第 10 回 KSN 国際カンファレンス (11 月 12-13 日) @韓国・釜山	14
<b>免責事項、商標および商号 .....</b>	<b>15</b>
商標	15
翻訳	15
ご意見およびフィードバック	15

## エグゼクティブボードおよびアドバイザーボードからのお知らせ

### 認証基準手順書の更新

3.1.8 項に基本 PAM の定義が追加されました。これは、資格認証対象モデルと拡張モデルとを明確に区別するためのものです。また、3.8 節に拡張モデルの登録も定めました。資格認証対象モデルに関する登録は VDA QMC によって自動的に行われますが、それ以外の拡張モデルについては ECQA での登録が可能です。ポテンシャル分析も Automotive SPICE® の拡張にあたり、アセスメントや認証時にはそのように扱われます。第 5 章では、異なるモデル間での相互認証や相互トレーニングに関するルールも記載していますので、ぜひご確認ください。なお、2026 年 1 月以降、登録されていない拡張は公式サイト上に掲載されなくなります。チケットダッシュボードの FAQ ページも定期的にご確認願います。

### EE-AC 認証およびコンピテンス証明書に関する内部手順書の更新

今回の手順書更新により、ワーキンググループのメンバーが活動への積極的参加を通じて、どのようにコンピテンス証明書を取得できるかが明確に定められました。ご不明な点があれば、ご所属のワーキンググループリーダーにお問い合わせください。

### intacs.info ウェブサイトよりアセッサータグ削除

エグゼクティブボードでは、以下のアセッサータグを 2026 年 1 月 1 日付で公式サイトから削除することを決定しました：

- ISO/IEC 15504
- 登録されていない拡張モデル

既存ライセンスは引き続き有効ですが、すべてのエキスパートおよびアセッサーの皆様には、該当する拡張モデルの登録と、ISO/IEC 330xx へのアップグレードトレーニングのご参加を推奨いたします。

### Automotive SPICE® の経験と収益性に関するアンケート結果

intacs e.V.が実施した ASPICE®に関するアンケート調査では、ASPICE®の実務での使われ方や、その収益性に対する捉え方について、非常に興味深い知見が得られました。世界中の経験豊富なプロフェッショナル 167 名からの有効回答をもとに、業界全体における ASPICE®導入の実情を反映した、信頼性の高い分析結果が示されています。

この調査は、2025 年 2 月から 4 月にかけてオンラインで実施され、回答者それぞれが経験した中で最も複雑だった ASPICE®プロジェクトに焦点を当てています。幅広い体験が集まった一方で、あくまで個々のプロジェクトを通じた主観的な評価である点には留意が必要です。

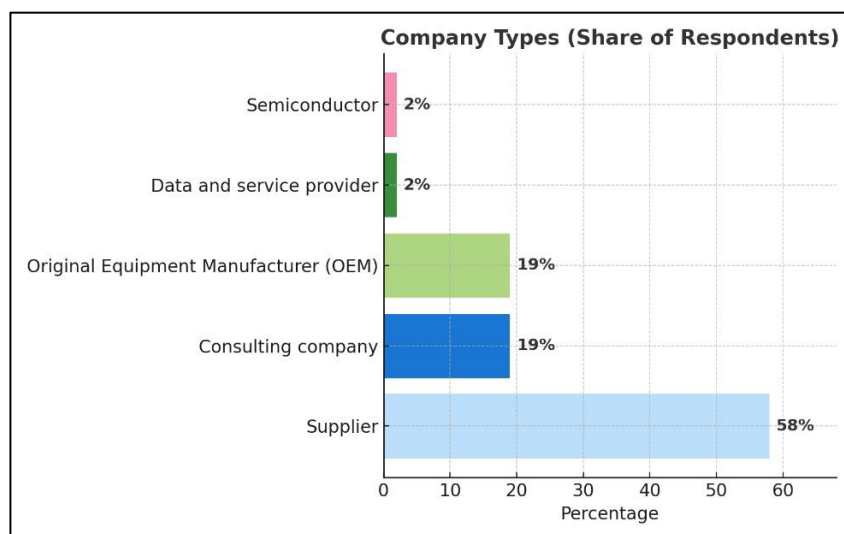


図 1：アンケートにおける企業種別

回答者の過半数（58%）はサプライヤー企業に所属しており、評価対象となったプロジェクトの多くは 2022 年から 2024 年の間に実施されたもので、現在の業界の実態をよく反映しています。これらのプロジェクトは、機能安全、認証、サイバーセキュリティといった分野に関わるケースが多く、実行チームの規模は中小規模（中央値：約 30 名）が中心でした。

多くのプロジェクトは ASPICE® 能力レベル 2 を目標としており、中にはすでにレベル 3 を目指している事例も見られました。最も頻繁にアセスメントされたプロセスは、プロジェクト管理（MAN.3）、ソフトウェアエンジニアリング（SWE.1~6）、支援プロセス（SUP）などで、以前の VDA スコープを中心に選ばれています。

主要なエンジニアリング活動においては、明確な改善が報告されています。中でも最も大きな効果が見られたのは要求のトレーサビリティ向上であり、次には不具合検出やプロジェクトのコミュニケーションの改善といった点が挙げられます。一方でスケジュール遵守については評価が分かれており、この領域では依然として課題が残っていることが示されています。

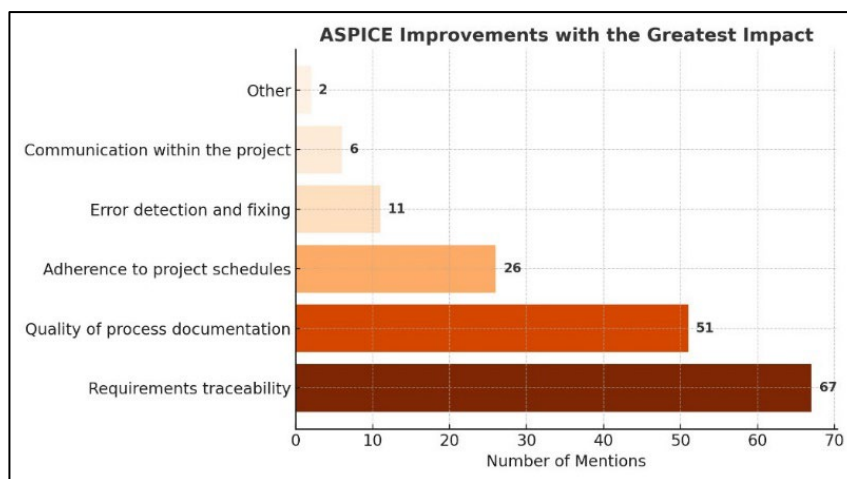


図 2：ASPICE による改善影響種別

投資の観点から見ると、ASPICE®の導入にはプロジェクトの開発予算の平均 11.65%が必要だったという結果が出ています。主なコスト要因としては、追加の作業負荷、トレーニング、外部コンサルタントなどが挙げられました。しかしこうした初期投資にもかかわらず、約半数の回答者が「同一プロジェクト内で金銭的メリットがあった」と回答しており、具体的には「不具合の削減」「保守工数の軽減」「保証対応コストの低下」などが効果として挙げられています。さらに、後続プロジェクトにおいては、約 9 割が「投資効果はプラスだった」と報告しており、継続的な適用によって高いリターンが得られていることが示されています。

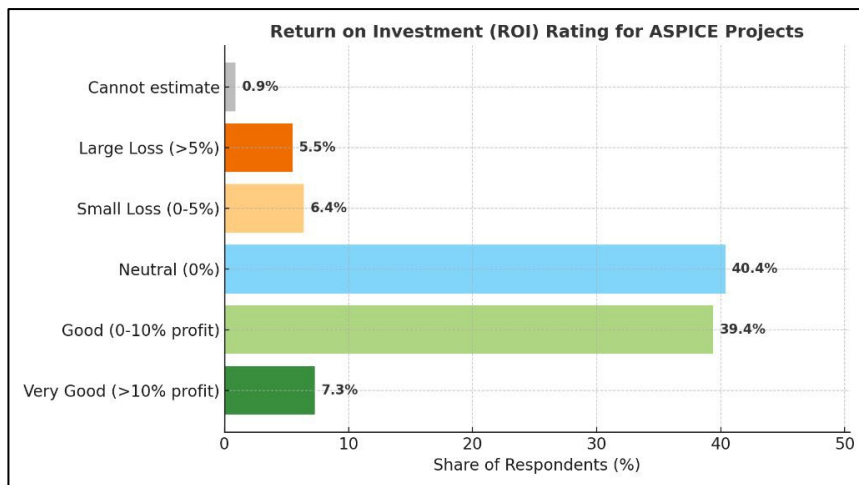


図 3 : ROI 評点

ASPICE®に対する全体的な満足度は非常に高い結果となりました。回答者の約 72%が「顧客満足度に良い影響があった」と回答し、ASPICE®の使用そのものに対しては 60%以上が満足していると答えています。中立的な意見も一部見られましたが、否定的な声はごくわずかでした。回答者らは ASPICE®を品質、トレーサビリティ、開発体制を改善するための触媒として捉えており、一般的認識がかつての「手間がかかるだけ」から「価値を生み出す仕組み」へと転換しました。

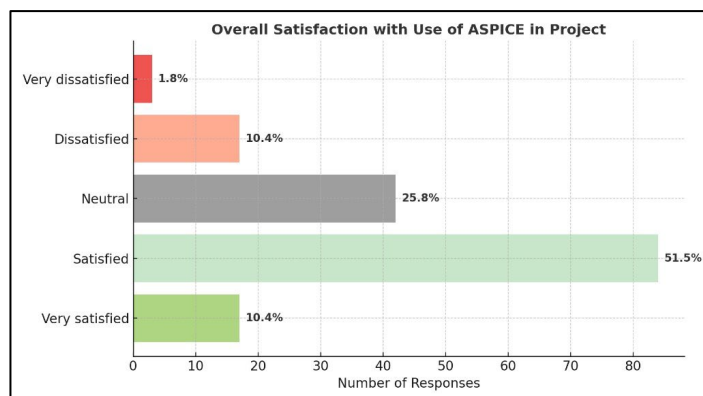


図 4 : 全体的満足度

結論として、ASPICE®は利点のほうが大変さよりも明確に上回るという結果が出ました。初期投資は確かに小さくはありませんが、品質、業務効率、関係者の満足度における長期的なメリットを考えると、導入する価値は十分にあると言えます。今後の調査では、こうした長期的な効果をより深く掘り下げるとともに、ASPICE®準拠のプロセスに関わってはいるものの、必ずしも専門家ではない現場メンバーや管理層の視点も取り入れていくことが期待されます。これにより、プロセスの再利用状況や、ASPICE®の全体的なエコシステムに対する理解がさらに深まることでしょう。なお、より詳しい内容については、intacs e.V.の公式ウェブサイトにて近日公開予定の intacs®ホワイトペーパーに掲載されます。どうぞお見逃しなく。

**担当者 :**  
Mario Herberger ([mario.m.herberger@intacs.info](mailto:mario.m.herberger@intacs.info))

## 手順書およびテンプレートの変更

この新しいセクションでは、最近公開された intacs® の新しい手順書やテンプレートについて、概要をまとめて紹介していきます。今後すべての手順書には、「リリース日」と「適用開始日」が明記されるようになります。これにより、いつから新しいルールが有効になるのが明確になります。

手順書/ テンプレートリンク	新 バージョン	リリース日	適用開始日	リリースノート(主な変更点)
認証基準手順書	10.8	2025-07-25	2025-07-25	<ul style="list-style-type: none"> <li>3.1.8 項：モデルと拡張の定義</li> <li>3.8 節：拡張の登録</li> <li>5 章：相互認証および相互トレーニング</li> </ul>

## 事実および統計

### ご存じでしょうか...

iNTACS e.V. は、現在 41 の個人および法人会員から成る非営利団体です。なお、認定を受けたエキスパートやアセッサーが自動的に会員になるわけではありません。




## intacs ウェブサイトに FAQ / intacs® ナレッジベース新設

Automotive SPICE® PAM のバージョン変更や新しいトレーニング体系の導入にともない、iNTACS には多くの質問がチケットシステムを通じて寄せられました。そこで私たちは、これまでに寄せられた質問とその回答を整理してまとめた「ナレッジベース」セクションを新たに公開しました。アセッサー認証やトレーニングに関する内容など、チケットを送る前にまずは右記リンクにて素早く答えが見つかるかもしれません：<https://intacs.info/ticket-dashboard> 掲載内容は随時アップデートされていますので、こまめにチェックしてみてください。

## iNTACS ニュースレターのバックナンバー

iNTACS ニュースレターのバックナンバーは[こちら](#)よりダウンロードいただけます。



 HOME ▾
  SPICE ▾
  CERTIFICATION

 INFORMATION LETTER

図 5：iNTACS ニュースレターの場所

## アセッサーコミュニティからのお知らせ

### SPICE コミュニティおよびネットワーク

intacs®を世界中に広めることは、私たちの主要な目標のひとつです。すでに多くの国に認定アセッサーがいますが、最新の情報や変更点を効率よく共有し、皆さんからのフィードバックを集めて継続的にスキームを改善していく仕組みが必要です。そこで、国際化ワーキンググループでは、各国の企業や業界関係者、地域コミュニティとつながりを築き、intacs®の取り組みを広めています。

また、地域代表を任命し、各国のアセッサーと直接コミュニケーションを取る体制も整えています。

ご興味おありでしょうか？

詳しくは右記リンクをご覧ください：<https://intacs.info/spice-center/spice-networks>

### ブダペストにおける iNTACS イベント

オーストリア、ブルガリア、クロアチア、チェコ共和国、セルビア、スロベニアの intacs 地域代表たちが、2025 年 5 月 14 日～15 日にハンガリー・ブダペストで初の地域イベントを開催しました。このイベントはハンガリーの Robert Bosch Kft. イノベーションキャンパスで行われ、intacs および EuroSPI ([www.eurospi.net](http://www.eurospi.net)) がスポンサーとして支えました。

オンライン・オンサイト合わせて 100 名以上が参加し、2 日間にわたり SPICE に関する幅広いテーマについての経験共有や意見交換が行われました。プレゼンテーションは、intacs のワーキンググループメンバー、VDA AK13 の代表者、OEM やサプライヤーの業界専門家によって提供されました。

詳しくは右記リンクをご覧ください：<https://intacs.info/spice-news-reader/spice-networks/intacs-reg-event>



図 6：ブダペストにおける iNTACS イベント



担当者：

Damjan Ekert ([Damjan.ekert@intacs.info](mailto:Damjan.ekert@intacs.info))

iNTACS オーストリア・クロアチア・セルビア・スロベニア代表

## ワーキンググループ(WG)からのお知らせ

### iNTACS “新規トレーニングコースとコーディネーション”WG からのお知らせ

#### Automotive SPICE ポテンシャル分析のトレーニングが始動


2024 年 6 月、VDA は Automotive SPICE® ポテンシャル分析 PAM/PRM (ASPICE® PoA) を公式に公開しました。その 1 か月後の 2024 年 8 月には、対応する Blue-Gold-Volume の印刷版も発行されました。ASPICE PoA は Automotive SPICE® の公式拡張モデルとして位置づけられており、VDA AK13 がこの PRM/PAM のためのトレーニング教材と試験問題を提供しています。VDA-QMC の WG13 (通称 AK-13) のサブグループとの連携により、カリキュラムとトレーニングコンセプトが策定されました。PAM/PRM および Blue-Gold-Volume の内容を精査した結果、1 日間のトレーニングと試験に必要なカリキュラムが確定されました。

このトレーニングでは、PoA モデル自体の解説に加え、その目的、適用範囲、ユースケースなども取り上げられます。また、PoA には ISO/IEC 33004 に基づいた独自の評価フレームワークが定義されており、これについても詳しく説明されます。

Automotive SPICE® PAM/PRM 4.0 に導入されたように、PoA においても適用範囲として基本スコープ、プラグイン、およびフレックススコープの 3 つに分類されています。

さらに、この「ポテンシャル分析」という手法はハードウェア領域でも使用されており、トレーニングの中では、VDA Volume 6 Part 3 および ASPICE PAM/PRM 4.0 との比較についても触れています。いくつかの組織を対象に PoA モデルの有効性を評価するパイロットプロジェクトを実施しており、フィードバックはそれらパイロットプロジェクトからのみならず、パイロットトレーニングおよび 2 度の講師向けトレーニングからも得て、教材に反映されています。

最終的な編集作業を経て、2025 年 5 月 21 日に正式版がリリースされ、すぐにトレーニングも数回実施されました。教材やモデル拡張に関するフィードバックは大歓迎です。PoA は PAM としてのすべての要件を満たしていますが、単独での認証には対応しておらず、Automotive SPICE® の拡張モデルとして扱われます。

	<b>担当者：</b> Bernhard Sechser ( <a href="mailto:bernhard.sechser@intacs.info">bernhard.sechser@intacs.info</a> ) iNTACS “ASPICE ポテンシャル分析”コーディネーター
---	--

### iNTACS “機能安全”WG からのお知らせ

#### 規格の調和：Automotive SPICE®と ISO 26262 の連携レベルをナビゲート

自動車システム工学の進化とともに、Automotive SPICE®と ISO 26262 の関係性がかつての“分離”から“統合”へと大きく変化しています。この 2 つの重要な規格は、それぞれプロセス能力と機能安全という、異なる目的を果たすものの、もはやこの 2 つを別々に扱う時代ではなく、両者の一体的な運用こそが実務上の必然となりつつあります。intacs®の活動の中で、私たちはこの 2 規格の融合の度合いを 3 段階に序列化することで、遵守と効率を最適化する組織にとっての羅針盤を提供します。

##### 1. 分離 – 二重の領域、二重の負担

基本的なレベルでは、組織は分離されたパラダイムで運用しており、Automotive SPICE® と ISO 26262 は完全に別個の領域として扱われています。アセスメントは独立して実施され、その結果は相手方のフレームワークでは認識されません。これは、それぞれの規格の文言に厳密に準拠することを保証する一方で、労力の重複、監査のオーバーヘッドの増大、シナジーの機会の喪失といった結果をもたらします。

##### 2. 共存 – 想い一つ、実行は別々

成熟度が進むにつれ、共存モデルではプロジェクトレベルでの整合が受け入れられます。Automotive SPICE® と ISO 26262 の両方のガイダンスが並行して適用され、可能な範囲でプロセスが調和されます。それでも、根本的なモデル構造は依然として異なっています。重要なのは、Automotive SPICE® のアセスメント結果が、安全監査において支援的な役割を果たし始めたり、機能安全アセスメントにおいて直接使用されたりすることです。こういった証拠の再利用は、監査効率の向上やプロジェクトチームへの負担軽減に向けた重要な一歩を示します。

### 3. 融合 – 遵守両立のための統一モデル

融合段階は、統合の努力の集大成となって表れます。ここでは、Automotive SPICE® と ISO 26262 の両方の要件を満たすために、単一で首尾一貫したプロセスアセスメントモデルが設計されます。この統合的アプローチにより、冗長性を最小限に抑え、プロセス能力と安全目標の両方にわたるトレーサビリティが確保されます。その成果は単なる遵守ではなく、プロセス成熟度と監査準備度の明確な向上です。

#### 結論

“分離”から“融合”への道のりは、運用効率、監査トレーサビリティ、分野横断的統合が、もはや任意ではなく不可欠のものであるという業界全体の認識を反映しています。OEM やサプライヤーが、安全が重要な自動車システムの複雑な要求に対応する中で、Automotive SPICE® と ISO 26262 を調和させたアプローチは、優れたエンジニアリング・ガバナンスの基盤として台頭しています。

この道のりの初期段階にある組織へのメッセージは明確です：統合に向けた意図的なステップは、遵守と品質の両面で測定可能な利益をもたらします。意識的な共存によるシナジーの活用か、あるいは完全な融合が理想のアプローチであるかは、intacs® の機能安全 WG によって現在も調査中です。

これらのトピックに関心があり、貢献したい方は、ぜひ当 WG までご連絡ください。

LinkedIn ハッシュタグ: #intacs-functional-safety

	<p>担当者： Hendrik Meyl (<a href="mailto:hendrik.meyl@intacs.info">hendrik.meyl@intacs.info</a>) iNTACS “機能安全”WG リーダー</p>
---	--

iNTACS “データ管理 SPICE”WG からのお知らせ

データには多少の「スパイス」が必要

効果的なデータマネジメントは、企業がデータ資産から価値を引き出すうえで不可欠です。同時に、整合性、品質、そしてコンプライアンスの確保にもつながります。次世代の「データ管理 SPICE（ソフトウェアプロセス改善および能力決定モデル）」では、データのライフサイクル全体にわたって、構造的かつプロセス志向の管理アプローチが重視されます。これにより、組織はデータ戦略をビジネス目標と整合させ、ガバナンスの枠組みを構築し、データ品質を確保しながら、安全かつ効率的なデータ共有を実現できます。

AI が牽引する変革の時代において、次世代のデータ管理 SPICE は、機械学習（ML）と IT サービス管理の橋渡しを担う重要な役割を果たします。信頼性の高い ML モデルの開発や、一貫性ある IT サービスの提供には、高品質で適切に統制されたデータが欠かせません。このフレームワークでは、データのライフサイクル管理・モデル学習・サービス運用の相互依存性に注目し、ML に使われるデータの信頼性、トレーサビリティ、そして IT プロセスとの整合性を確保します。

また、ML パイプラインと IT サービスとの間にシームレスな連携を構築し、モデルのスケラブルな展開、継続的なモデル監視、サービスレベルやデータ保護要件への準拠もサポートします。データマネジメントを ML と IT サービスの両方の実践に統合することにより、組織は、運用上の卓越性と戦略的な俊敏性を備えた、堅牢で AI 対応のサービスを実現できるのです。



次世代データ管理 SPICE：ASPICE 4.0 と整合した統合的かつスケラブルなデータ運用の実現へ

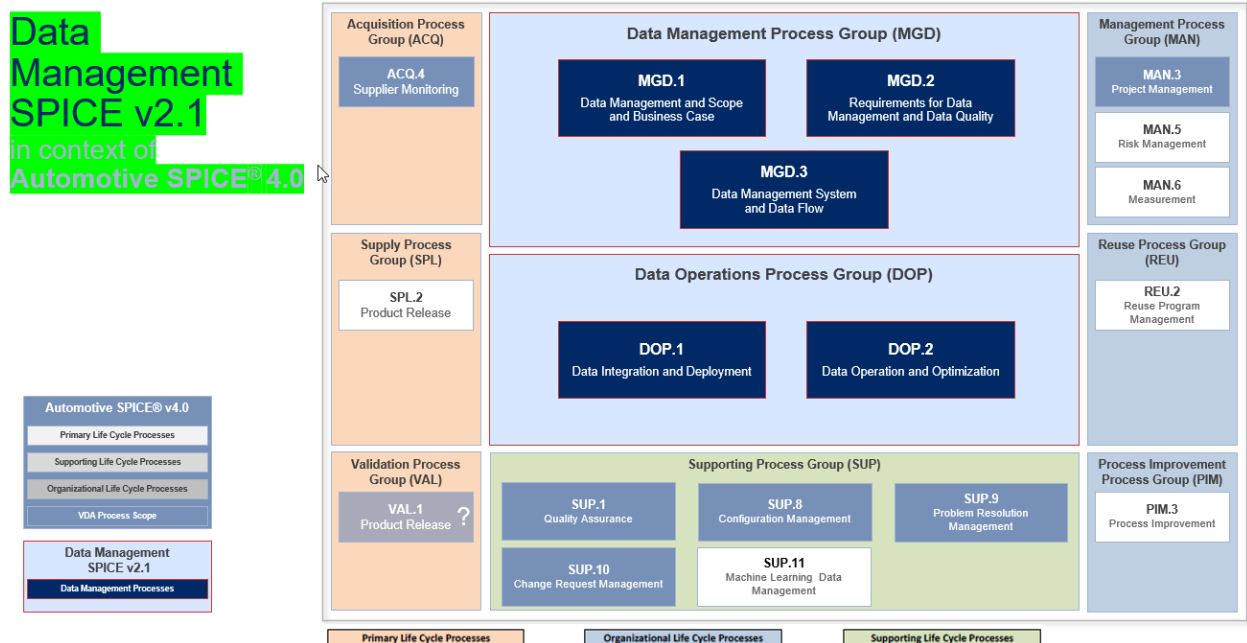


図 7：データ管理 SPICE v2.1 に適応されたプロセス

次世代の Data Management SPICE は、ASPICE 4.0 に完全に整合しており、製品およびサービスライフサイクル全体においてデータを中核資産として管理するための体系的枠組みを提供する。ASPICE 4.0 のプロセスを拡張・統合することで、AI、機械学習（ML）や IT サービス環境に不可欠である、一貫したデータ品質、ガバナンス、トレーサビリティを実現する。こ

の整合性によって、エンジニアリング領域とデータ駆動型領域の間に円滑な協働が促進され、スケーラビリティ、遵守性、および将来性のあるデジタルソリューションが実現される。

下図では、Data Management SPICE v2.1 がどのように Automotive SPICE 4.0 の枠組みに統合されているかを示しており、主要・支援ライフサイクルプロセスとの整合性が強調されている。

この統合の中心には、以下の 2 つの専用プロセス群がある：

- **データ管理プロセスグループ (MGD)：** データ戦略、データ品質要件、データフローのシステムレベル管理を担う。
- **データ運用プロセスグループ (DOP)：** データの統合、展開、運用最適化といった実務的側面に焦点を当てる。

さらに、このモデルは以下の支援プロセス群を補完する：品質保証 (SUP.1)、構成管理 (SUP.8)、変更要求管理 (SUP.10)、問題解決管理 (SUP.9)

また、ASPICE v4.0 に含まれる重要なプロセス、たとえばプロジェクト管理 (MAN.3) やサプライヤ監視 (ACQ.4) などとも連携し、領域横断的なトレーサビリティ、遵守性、堅牢なガバナンスを実現する。

この統合により、データはシステムおよびソフトウェアエンジニアリングにおいて「第一級市民」となり、現代の IT サービスや機械学習システムが求める高品質・適切に管理された・追跡可能なデータを、ライフサイクル全体にわたって支える。

次世代 Data Management SPICE の正式リリースは 2025 年第 4 四半期を予定している。続報をお楽しみに。

	<b>担当者：</b> Thomas Sievers ( <a href="mailto:thomas.sievers@intacs.info">thomas.sievers@intacs.info</a> ) iNTACS “データ管理 SPICE”WG リーダー
---	---

## iNTACS “光学 SPICE”WG からのお知らせ

### “光学 SPICE”WG、中国ソフトウェアイノベーション会議で車載光学製品開発を紹介

6 月 13 日、武漢で開催された第 3 回中国ソフトウェアイノベーション・開発会議において、“光学 SPICE”WG（代表：Gong Zheng 氏と Hou Yawen 氏）は、中国オプティクス・バレーの Zao 博士や、武漢を拠点とする光学系大手 2 社の関係者と意見交換を行いました。議題の中心は、「光学 SPICE」を活用した車載用光学製品開発の標準化と、そのプロセス参照モデル (PRM) およびプロセス評価モデル (PAM) における革新的な実践事例でした。

セッションではまず、“光学 SPICE”WG が iNTACS の概要を紹介し、光学 SPICE の PRM と PAM が、車載光学システム的设计・検証にどのように体系的な支援を提供するかを説明しました。また、業界動向として「車内光通信の実装」と「銅線から光ファイバーへの移行」という 2 つの重要なトレンドが取り上げられました。

光学技術の車載分野への応用により、通信帯域幅（最大 10Gbps）の大幅な向上や、EMC（電磁干渉）耐性の強化といった安全性の向上が図られる一方、従来の車両開発プロセスの見直しも求められています。

現在、東風汽車 (Dongfeng Motor) をはじめとする OEM と光学製品サプライヤーは、共同研究の第 1 フェーズを完了しています。具体的には、光ケーブルアセンブリを工業用グレードから車載用グレードへアップグレードし、高温 (125°C) ・高振動 (V3 レベル) などの過酷な環境での妥当性検証を実施。アセンブリから構成部品、ベンチテストから実車適用まで、車内、車体下部、ルーフなど全車両環境への適合性を確認しています。

本会議での情報交換は、車載光学製品開発における光学 SPICE モデルの導入促進に加え、業界全体の国際的な標準化コミュニケーションプラットフォームの確立にもつながりました。今後、車両への光通信技術の導入が加速する中で、光学 SPICE は車両性能の向上と技術革新を牽引する重要な役割を担っていくと期待されています。



図 8 : 第 3 回中国ソフトウェアイノベーション・開発会議 における「光学 SPICE」プレゼンテーションの様子

	<p>担当者： Bryan Gong (<a href="mailto:bryan.gong@intacs.info">bryan.gong@intacs.info</a>) iNTACS “光学 SPICE”WG リーダー</p>
--	--

## SPICE 関連カンファレンスのご紹介

この欄では数々の intacs® 認定イベントをご紹介します。発表者と参加者は、コンピテントあるいはプリンシパルアセッサ-の資格認定に利用できる参加証（EE-AC、EE-EP）をカンファレンス主催者より受領できます。

### 第 32 回 EuroSPI カンファレンス(2025 年 9 月 17-19 日)@ラトビア・リガ、技術大学

EuroSPI 2025 (9 月 17~19 日)はハイブリッド(オンサイト&オンライン)形式のカンファレンスであり、8 つのテーマを 4 トラックに分かれて、9 つの国際キーノートおよび 54 つのプレゼンテーションが行われます。テーマ発表は理論と産業/応用科学における実践の両視点を統合した形で構成されます。

全体プログラムは右記ご参照：<https://conference.eurospi.net/index.php/en/programme/conference-programme>

テーマ一覧：

- ソフトウェアエンジニアリングの新潮流
- 産業のデジタル化と電動モビリティ（E-Mobility）
- 高い成熟度の組織
- 機能安全とサイバーセキュリティ
- アジャイル & リーン開発手法
- アセスメントモデルと標準規格
- 技術革新（イノベーション）
- サステナビリティとライフサイクルの課題

EuroSPI は、イベントへの参加を通じた「経験証拠（Experience Evidence）」を提供する場として、INTACS によって公式に認められています。このイベントでは、アセッサ-が自動車、IT、防衛分野の研究者や業界関係者と直接交流できる機会が設けられています。

### 第 1 回 NASPICE カンファレンス（2025 年 9 月 23-24 日）@米国ミシガン州・ノヴァイ

第 1 回となる北米 SPICE カンファレンスが 9 月に行われます。詳細は右記リンクをご参照ください：[NASPICE | 第 1 回北米 SPICE カンファレンス](#)

北米 SPICE ネットワークより、北米で初となる Automotive SPICE® カンファレンスの開催を、慶んでお知らせいたします。2025 年 9 月 23&24 日にミシガン州ノヴァイにおいて行われるこのイベントでは、エキスパートやアセッサ-、そして業界リーダーら一堂に会して Automotive SPICE® の最新動向や自動車関連規格の進展、組込システムの品質、安全、セキュリティに関する活発な議論の機会をご提供いたします。

## 第 2 回 アジア SPICE カンファレンス (ASCON) x 第 10 回 KSN 国際カンファレンス (11 月 12-13 日) @韓国・釜山

私たち Korean SPICE Network (KSN) は、来る 11 月 12&13 日、シグニエル釜山にて第 2 回 ASCON x 第 10 回 KSN 国際カンファレンスを開催することを、慶んでお知らせいたします。



第 1 弾の早割（\$300）が 8 月 17 日まで受付中です。標準金額である\$500 でも、カンファレンスの内容からするとかなりお手頃だと、自信を持ってお勧めできます（オンサイト・オンライン同額）。

当カンファレンスにお越しになるべき 4 つの理由を、以下に挙げさせていただきます：

1. 多くの OEM 発表（Mercedes-Benz、BMW、Cruise(GM)、Ford、Hyundai、MHP(Porsche)※アルファベット順）
2. 全て英語
3. オンライン参加も可能
4. EE-AC/EP 発行対象

更にはオンサイトご参加の場合、初日の夕食と 2 日目の昼食を、皆様とご一緒にお召し上がりいただけます。;-)

是非とも皆様お誘いあわせの上、お越しくださることを心待ちにしております！

詳細は右記リンクをご参照ください：<https://2nd.ascon.asia/> および <https://ksn.kaata.or.kr>.

	<p>担当者： 蔡光浩 (<a href="mailto:chekwangho@quantumassoc.co.jp">chekwangho@quantumassoc.co.jp</a>) iNTACS 韓国代表、第 2 回 ASCON 議長</p>
---	---

## 免責事項、商標および商号

ニュースレターの登録やキャンセルは、intacs.info にログイン後、“プロフィール編集-ニュースレター/言語”にて行えます。

### 商標

商標の使用に関し、各パートナーと合意した以下の詳細についてご留意願います。

intacs®、Agile SPICE®、Automotive SPICE®、VDA QMC®、ECQA® は登録商標です。左記商標および関連ロゴの使用は、いかなる種類の証明書にも使用が禁止されています。

他の目的でロゴを使用する際には、必ず事前に当該権利保有者から書面による承認を得る必要があります。いかなる違反もアセッサ資格の喪失や、法的措置を引き起こす可能性があります。




アセッサ資格認証の初回および更新申請の際に署名される「アセッサ資格認証申請書」中の記述にもご留意願います。この文書で使用されている商標：

- Automotive SPICE®, ASPICE®, VDA® および QMC® は VDA Verband der Automobilindustrie e.V., 10117, Berlin, DE の登録商標です。
- ECQA® は Reiner, Michael, 3552, Dross, AT の登録商標です。
- iNTACS®, intacs® および Agile SPICE™ は International Assessor Certification Scheme e.V. (intacs e.V.), 51147, Köln, DE の登録商標です。

### 翻訳

すべての翻訳は正式版である英語版ニュースレターに基づいています。英語版並びに全翻訳版とも intacs e.V. の著作物です。

本ニュースレターを翻訳してくださった翻訳者の方々に感謝申し上げます。

	<p><b>中国語翻訳者：</b> Yawen (Evan) Hou (<a href="mailto:qchaier@126.com">qchaier@126.com</a>) iNTACS “情報管理”WG メンバー</p>
	<p><b>日本語翻訳者：</b> 蔡光浩 (<a href="mailto:chekwangho@quantumassoc.co.jp">chekwangho@quantumassoc.co.jp</a>) iNTACS 韓国代表</p>
	<p><b>韓国語翻訳者：</b> Jeong Kee Kim (<a href="mailto:jkkim@cnbis.co.kr">jkkim@cnbis.co.kr</a>) Korean SPICE Network 副会長</p>

### ご意見およびフィードバック

ニュースレターに関するご意見やフィードバックはおありでしょうか？

皆様からのフィードバックをお待ちしております！

Thomas Kömmerling & “情報管理”WG より

	<p>担当者： Thomas Kömmerling (<a href="mailto:thomas.koemmerling@intacs.info">thomas.koemmerling@intacs.info</a>) iNTACS “情報管理”WG リーダー アドバイザリーボードメンバー</p>
---	--

International Assessor Certification Scheme e.V. (iNTACS e.V.), Herderstr. 7, 51147 Köln, Germany